

岐阜市庁舎跡活用基本構想（案）【概要版】

1 基本的な考え方

■ 基本的な考え方

**持続可能なまちの実現に向けた
活力の源となるにぎわいをつなぎ、にぎわいづくりを支える空間の形成**
—「ひと」と「しごと」、そして「まち」へ—

■ 庁舎跡に求められる役割

- 岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐ本市のセンターゾーンの中で、
 - 駅周辺エリアからつかさのまちエリアに至るにぎわいづくりを支える連携軸上に位置
 - にぎわいの場である柳ヶ瀬エリアとみんなの森・ぎふメディアコスモスや、今春開庁予定の新庁舎が立地するつかさのまちエリアとの中間に位置
- 柳ヶ瀬エリアとつかさのまちエリアをつなぎ、回遊性を確保し、センターゾーンにおける厚く広がりのあるにぎわいづくりを支えていくことが求められる



■ 中心市街地の状況

① 人口減少・少子高齢化の進行

- 人口の推移
[2015年(1980年比)] 市全域: ▲3% / 中心市街地: ▲48%
- 人口構造の推移 (中心市街地)
※年少: 0~14歳、老年: 65歳以上
[1980年→2015年] 年少*: 17%→8% / 老年*: 13%→37%
- マンション建設が進み、まちなか居住人口の増加が期待

② 都市機能・経済活動の集積と衰退

- 市全域に占める中心市街地における全事業所数の割合
[1986年] 約18%→[2016年] 約11%
- 全事業所数の推移
[2016年(1986年比)] 市全域: ▲29% / 中心市街地: ▲55%

③ 来街者数の減少

- [2018年(1984年比)] 平日: ▲66% / 休日: ▲80%

■ 中心市街地におけるまちづくりの課題

- | | |
|----------------------|---|
| にぎわいの創出 | にぎわいを形成する様々な要因が縮小傾向であることから
→ 中心市街地全体での多様性のあるにぎわいの創出 |
| 集約型のまちづくり | 商業・業務の中心地である中心市街地の経済活動の衰退は、求心力の低下、さらには周辺地区にも影響を及ぼす恐れがあることから
→ 経済活力を生み出していく |
| 健全な財政運営と効率的・効果的な行政経営 | 人口減少などに伴う税収減、将来にわたる財政需要の増加などが見込まれることから
→ にぎわいの創出とまちづくりの推進及び健全な財政運営と効率的・効果的な行政経営の両立 |

■ 中心市街地において庁舎跡に求められる役割

- 人の交流の活性化
- 健全な財政運営
- 経済活動の活性化
- 効率的・効果的な行政経営
- 中心市街地の活性化
- 持続可能なまちづくり

■ 庁舎跡の活用の視点

- センターゾーンにおけるにぎわいづくりを支える連携軸上にあって、柳ヶ瀬エリアとつかさのまちエリアの中間に位置する中で、
+ にぎわいをつなぎ、回遊性を確保することで、にぎわいづくりを支え、人の交流の活性化、経済活動の活性化を支える

■ 本庁舎跡の立地特性から導かれる役割

- つかさのまちを中心とする文化・行政エリアに近接
- 約11,600m²の中心市街地における貴重な大規模な一団の土地

みんなの森・ぎふメディアコスモスと新庁舎とが生み出す新たな人の交流が期待される中で、
人の交流の活性化を支え、気軽に立ち寄り、憩う空間の提供

■ 南庁舎跡の立地特性から導かれる役割

- 柳ヶ瀬を中心とする商業・業務エリア及び岐阜商工会議所に近接
- 本庁舎跡と比較してコンパクトな約3,100m²の土地

市街地再開発事業とリノベーションまちづくりを両輪としたまちづくりが進む柳ヶ瀬を中心とする商業・業務エリアをはじめ産業界と連携・連動し、経済活動の活性化を支える産業支援と創業・起業支援及び経済活動を担う人材の支援と育成

● 民間事業者等のアイデアやノウハウ、資金など民間活力の最大限の活用

【市民が庁舎跡に望む機能】

【機能の内容と期待される効果】		
機能	内容・期待される効果	
本庁舎、南庁舎の活用方法として、望ましい施設や用途		
順位	本庁舎	南庁舎
1位	公園や広場	子育て支援施設
2位	子育て支援施設	公園や広場
3位	文化施設	医療施設

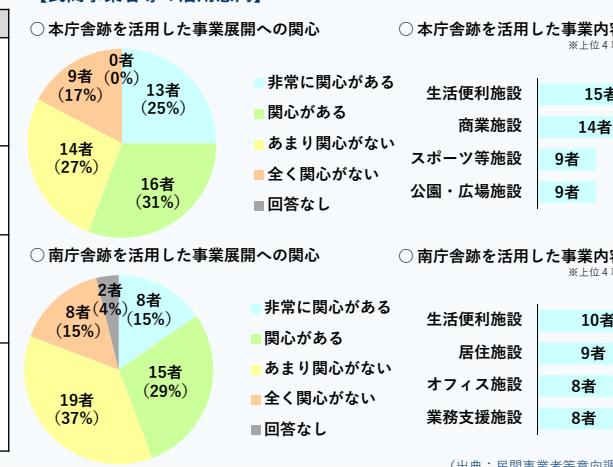
(出典: 市民アンケート調査【平成27(2015)年度】)

庁舎跡に望む活用方法や、あつたら良いと思う機能、サービス

順位	項目
1位	外食や食べ歩きなどを楽しむことができる場
2位	衣料品や雑貨などを見たり、買い物をしたりできる場
3位	オフィスや休憩室などの自然にふれあい、楽しむことができる場

(出典: 岐阜市庁舎跡活用基本構想策定検討報告書)

【民間事業者等の活用意向】



2 本庁舎跡の活用方針

■ コンセプト: ひとびとの交流を支え、ひとびとが気軽に立ち寄り、憩う空間の形成

導入機能	<ul style="list-style-type: none"> ひとびとの交流を支え、ひとびとが気軽に立ち寄り、憩う機能
時間軸	<ul style="list-style-type: none"> 将来的なそのときどきの時代の要請や行政需要の変化などにも備え、短・中期的な活用
財政負担	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎跡を効果的・効率的に活用するため、民間事業者等のアイデアやノウハウ、資金など民間活力の最大限の活用を図る
土地の所有	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における貴重な大規模な公共用地であり、将来的なそのときどきの時代の要請や行政需要の変化などにも備え、本市がまちづくりの方向性を誘導できるようにするために、市が所有する

■ 導入する機能の概要

<ul style="list-style-type: none"> ひとびとの交流を支え、ひとびとが気軽に立ち寄り、憩う機能 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を支え、気軽に立ち寄り、憩う機能
<ul style="list-style-type: none"> オープンスペース(広場など)を想定 * 芝生や緑が持つ可能性※を考慮 ※地域活性化、健康増進、コミュニティ形成、防災機能の向上、都市環境改善 * 避難場所としての活用なども想定 	<ul style="list-style-type: none"> 商業機能のほか文化・芸術、交流機能などを想定 * 中心市街地における大規模な土地を十分に活用 * 柳ヶ瀬エリアをはじめ、まちづくり活動などとの連携、協力なども想定

■ 導入方法

- 借地による民設民営及び公平・公正・透明性の観点から公募により民間活力を最大限に活用することを基本
- 公募においては、上記機能を導入することを前提とした本庁舎跡の活用の提案を受け、より効果的・効率的な活用を確保

3 南庁舎跡の活用方針

■ コンセプト: しごととしごとを担うひとを支え、育む空間の形成

導入機能	<ul style="list-style-type: none"> しごととしごとを担うひとを支え、育む機能
時間軸	<ul style="list-style-type: none"> 将来的なそのときどきの時代の要請や行政需要の変化などにも備え、短・中期的な活用
財政負担	<ul style="list-style-type: none"> 現在の建物については、直ちに支障をきたすような著しい劣化等が見られないことから、(短・中期的に) 使用していくことも想定
土地の所有	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎跡を効果的・効率的に活用するため、民間事業者等のアイデアやノウハウ、資金など民間活力の最大限の活用を図る

■ 導入する機能の概要

<ul style="list-style-type: none"> しごとを支え、育む機能 	<ul style="list-style-type: none"> しごとを担うひとを支え、育む機能
<ul style="list-style-type: none"> 既存事業者やスタートアップ、ベンチャーなどのサポートに適した機能(インキュベーション機能など)を想定 様々な業種・分野・地域を結びつけ、産業・知的交流を促進し、相乗効果を生み出すような機能(シェアオフィス機能、コワーキングスペース機能など)も想定 	<ul style="list-style-type: none"> 関係する機関や団体なども連携した次世代を担う若い世代や新たに創業・起業を志す人材の育成に適した機能を想定

■ 導入方法

- 借地による民設民営及び公平・公正・透明性の観点から公募により民間活力を最大限に活用することを基本
- 公募においては、上記機能を導入することを前提とした南庁舎跡の活用の提案を受け、より効果的・効率的な活用を確保
- 現在の建物の使用または解体については、民間事業者等の意向を踏まえる

○ 今後のスケジュール

